

新庁舎・(仮称)新福祉会館建設に係る市民説明会(第4回)	日時	平成30年11月10日(土) 19:00~21:10	場所	第一小学校 体育館
説明者	西岡市長、天野企画財政部長、中谷福祉保健部長、高橋庁舎建設等担当課長、今井公共施設マネジメント推進担当課長、前島福祉会館等担当課長			
事務局	企画政策課 渡辺主査、岡崎主任、小林主任 地域福祉課 山口主査 (受託者)株式会社大建設 北原氏			
参加者数	36人(うち市議会議員4人)			
次第	1 開会 2 新庁舎建設基本計画について 3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について 4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について 5 建設計画(施設配置)について 6 「これまで」と「これから」について 7 質疑応答 8 閉会			
(進行:渡辺主査)				
1 開会 西岡市長による開会挨拶を行った後、説明員の紹介を行った。				
2 新庁舎建設基本計画について				
3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について				
4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について				
5 建設計画(施設配置)について				
6 「これまで」と「これから」について 高橋庁舎建設等担当課長が2、5について、前島福祉会館等担当課長が3、4について説明を行った後、西岡市長が6について説明を行った。				
7 質疑応答				
【市民A】 P44の建設コストの表中単位は「(千円)」ではないか。 → ご指摘のとおりである。申し訳ない、以降修正する。				
【市民B】 C-3で(仮称)新福祉会館を耐震にし、新庁舎は免震となっているが、分ける意味が理解できない。 → 市議会からP48にある4項目提案を受け、Cre-2に条件を加えて追加調査を行った。その結果、成立する見通しとなった。市長としての考えは、新庁舎は今後の防災拠点となり、(仮称)新福祉会館は災害ボランティア活動の本部となり、災害時医療の拠点となることを考慮すると両施設とも免震が望ましいと考えているが、両施設の上部構造等によるところがあり、基本設計段階で決めていくこととなる。				
【市民B】 コスト比較上、耐震と免震に分けた理由が理解できない。コストだけ見るとC-3が良く見える資料の作りとなっているが、両施設とも免震にすることや清掃関連施設の解体等を考慮するとコストは4千万円程度の差しかないと考える。正確な資料で比較いただきたい。現在の比較表は、あくまで1つの試算であると認識している。また、(仮称)新福祉会館も免震にしてほしい。 → 意見として承る。				
【市民C】 清掃関連施設の暫定移設は不要と考えており、暫定移設に1億6千万円を使わないことで方針は良くなったと思う。福祉会館機能を早期回復することは、このエリアに住むものにとって切実な希望であった。当初より遅れてはいるものの、8か月早く回復することは良いと思う。このエリアでは、解散を余儀なくされた団体もあり、福祉会館機能の早期回復を是非お願いしたい。また、現在の広場は保育園の子どもたちが多く遊んでおり、災害時の利用も考えると、広場・緑地を広くとっていただきたい。C-3の広場面積に比べB-2、C-2の広場面積は倍くらいある点で、優位性があると思う。事業費を考えるとC-2が最も安く、1㎡当たりの事業費を考えるとB-2、C-2が最も有力だと考える。免震・耐震については、このエリアの地盤は良好であり、耐震でも良いと思う。総合すると、B-2、C-2で考えていただきたい。 → 意見として承る。				
【市民D】 現状、Cre-2又はC-3のいずれかで進めていきたいという理解でよいか。C-3の清掃関連施設の				

暫定移設を行わないという点は、コスト面では理解できるが、清掃関連施設の再整備計画に関して、二枚橋焼却場跡地では地元の反対があると聞いている。平成36年度に行う中間処理場の再整備について、地元の確認はどうなっているか。

→ 施設配置を確定するのではなく、お示ししている今後の整備方針を持って基本設計に入りたいと考えている。清掃関連施設について、現在の中間処理場は老朽化が深刻であり、しっかりとした整備が必要である。庁舎建設予定地の暫定施設の課題等を総合的に判断し、二枚橋焼却場跡地周辺、貫井北町周辺、全体の統括という3つの会議体を作り、清掃関連施設整備基本計画を策定した。地元の方々を含め市民の方々との協議は今後も丁寧に進めてまいりたい。

【市民E】 C-3は複合施設と考えてよいか。(仮称)新福祉会館が先行竣工した場合、新庁舎とどこかでくっついているのか。

→ 複合施設として整備する方針である。(仮称)新福祉会館を利用する方は、市役所で展開する様々な申請やサービスを併せて利用するケースがあり、利用動線、施設配置、レイアウトが最も良い方法が望ましく、今後の基本設計段階において更に検討してまいりたい。

【市民E】 (仮称)新福祉会館と新庁舎を別々に建てる場合の連なりはどうか。複合化ということはくっついていると考えていいか。別々に建てる場合、どの程度離れているのか。免震と耐震で分かれることの意味が分からない。

→ 複合の在り方、耐震システムについては、今後の基本設計段階で決まってくる。

公共施設マネジメントの目線で言うと、福祉会館、保健センター、庁舎を一体の建物として整備していこうとしている。コスト面からも極力コンパクトな施設で幅広いサービスを提供しようと考えている。こうしたことは、複数の建物をくっつける考えではなく、基本設計段階でしっかり整理してまいりたい。安全性を考慮し、工事の施工空間をしっかりと確保していくため、このくらい離れているから大丈夫だということではない。病院等においては、免震構造と耐震構造を組み合わせる例は多々ある。利用用途を含めて基本設計段階で検討してまいりたい。

【市民F】 説明会は、施設配置パターンを提示して意見を聴取し、資料に示してある今後の整備方針に沿って進めていくということによいか。また、道路が北側、西側にあると思うが、西側しか利用していないのはなぜか。

→ これまで複数の施設配置案を検討しお示ししてきたが、何を重点に事業を進めていくかという中で、施設配置や工事の進め方が変わることが分かってきたので、お示ししている今後の整備方針のとおり考え方を整理し基本設計に入っていくということをご理解いただきたいというのが一つの趣旨である。道路の利用について、北側はJR所有の土地のため、自由に利用することはできない。利用については、JRと協議してまいりたい。また、南東角地の道路を寄附いただいております。複数経路の確保について検討をしていく。

【市民G】 それぞれ単体で建設し、(仮称)新福祉会館を南側に配置する案を希望する。(仮称)新福祉会館は利用者の特性を考えると道路から近い方が良く、駐輪場からの距離も近い方が良い。また、北側は広場として残しやすいのではないかと思う。

→ 意見として承る。

【市民H】 基本設計で柔軟に検討したいということだが、どこかの段階で決めないと進まない。平成31年度末までに方向性を固めるという理解でよいか。

→ 基本設計を進める中で最終的な方針を決めてまいりたい。

【市民I】 旧福祉会館は既に取り壊されているが、建て替えの補助金はあるか。

→ 現段階では、補助金は探しきれておらず、市の財源で建てることとなる。

【市民J】 両施設とも南側に面しているとよく、当初の4つの配置案ももっと検討してほしい。

→ P63に示している今後の整備方針では、C-2やC-3が選択肢となる。南向きの要望について、南側に横並びで配置をすると北側の広場に日が当たらないというデメリットがある。(仮称)新福祉会館には保健センターが入る等、1フロアの床面積を広く必要とする機能がある。一方で、C-2だと(仮称)新福祉会館は6階建てとなり、1フロアの床面積を広くとることができない。それぞれメリット・デメリットがあり、内外のデザイン、レイアウトを含め基本設計段階で整理していく。

【市民K (第1回市民A・第3回市民Dと同一人物)】 片方免震、片方耐震は避けるべき。駐輪場からの距離の話があったが、駐輪場に屋根を付けなければどうせ濡れるのだから、気にする必要はないと思う。

→ 市民が利用しやすいようにすることが第一である。免震・耐震については、基本設計段階で決めていく。

【市民L (第1回市民Dと同一人物)】 清掃関連施設の暫定施設は行わないことについて、清掃関連施設が計画どおり移設できない場合を懸念している。清掃関連施設の暫定施設を行わないことの大きなデメリットと考える。(仮称)新福祉会館の機能を決める際、「交通手段の「自動車」が欠かせない。一定のオープンスペースの確保」が一つの条件となっており、清掃関連施設が計画どおり移設できない状態が続くと条件が満たされないこととなる。(仮称)新福祉会館先行竣工の声は届いて

いるとのことだが、C-3において、新庁舎が5か月遅れてしまうデメリットの比較衡量をしっかりとしてほしい。本庁舎は耐震性に問題がある一方、(仮称)新福祉会館に入る機能は現在の暫定施設で耐震性に問題がないため、新庁舎竣工の方が遅らせられないのではないかと。また、C-3で(仮称)新福祉会館を免震にした場合、工期はどうなるか。

→ 清掃関連施設の再整備は計画どおり進めていかなければならないと考えている。

C-3で(仮称)新福祉会館を免震にした場合の工期は持ち合わせていない。施設配置を検討する上では、何に重点を置くかが大切であり、設計に入らないうちで、お示ししている今後の整備方針をもって臨んでまいりたい。

(仮称)新福祉会館は従前の計画よりも既に遅れているが、長い目で見れば新庁舎と同じ施設にすることが市にとって必要な判断と考える。(仮称)新福祉会館の機能を早期回復させることが必要と考えている。

【市民M】 建設コスト比較の中で、基本設計費、実施設計費、工事監理費、欄外の外構工事費について詳細を知りたい。また、新庁舎は基本計画より5年遅れており、第二庁舎の賃料の関係からも早期に建てるべきと考える。

→ 基本設計費、実施設計費、工事監理費は一定の単価に面積をかけて算出している。B-2はそれぞれ単体のため、それぞれで計算しており、その他は複合した面積での単価で計算をしており、比べれば割安となる。外構工事費は、Cre-2は清掃関連施設を暫定移設しているため面積が小さいため安く、新庁舎、(仮称)新福祉会館竣工後の工事エリアが広くなり外構工事費も高くなる。

【市民A】 調査業務を追加実施しているが、整備方針をもとに追加で実施するものなのか。金額はいかかか。

→ 現在、調査中の追加調査の結果C-3が成立する見込みとなったところである。費用は約70万円である。

【市民N】 小規模保育を行っているものであるが、現在の庁舎建設予定地の広場は何㎡なのか。駅周辺の認可保育園は園庭を持っておらず、庁舎予定地では1日150人程の乳児が原っぱで遊んでいる。新庁舎建設後の広場でそれが満たされるのか。遊具のない原っぱの広場を希望する。

→ 現在、乳児が遊んでいるエリアの面積算定は、正確な数字は持ち合わせていない。今後は、広場は多用途に多くの市民が利用できるように考えている。

【市民B】 本庁舎跡地はどうなるか。敷地の自由度をある程度確保しておくということや将来的にどういう公共施設配置とすると関係してくると思う。長期的な公共施設再配置をしていく上で、庁舎建設予定地は、新庁舎と(仮称)新福祉会館で終わりなのか、こうした考え方をもちたい。第二庁舎の契約期間はどうか。

→ 本事業は、公共施設の大幅な集約化になると考えている。そのことによる利便性の向上を目指すとともに、公共施設等総合管理計画の基本的な考え方にそって集約化し、そのことにより生み出される跡地の利用について検討する必要がある。他の公共施設の老朽化対策等にも関わってくる。跡地利用は、総量抑制という観点もあり総合的に判断することとなるが、有効活用していきたい考えであり、有効活用の在り方は今後検討してまいりたい。庁舎建設予定地の残地の活用は、現在、具体的な考えを持っていない。まずは、新庁舎・(仮称)新福祉会館をしっかりと建設し、当面は、広場・緑地として活用する。しかし、将来に可能性として残すことは大事である。第二庁舎の契約は、現在、所有者と新たな契約更新に向けた交渉協議中である。

【市民E】 公民館がなくなり市民団体等が困っている。(仮称)新福祉会館の機能として多目的室、マルチスペースといったものは、どんな使い方を予定か。

→ 基本計画の段階であり、大きくくりで学習室や集会室を想定し多目的室としており、マルチスペースは、1階ロビー等を想定している。具体的な部屋数や形は基本設計段階で意見を伺いながら決めていく。

【市民E】 福祉会館の担当を始め市としての考えや願いがあってもいいのではないかと。

→ 意見として承る。

【市民O】 新庁舎、(仮称)新福祉会館を南側へ配置し広場を広くつくってほしい。床面積について、現在の面積が12,000㎡なのか。

→ 現在、本庁舎は約2,800㎡で第二庁舎は約6,000㎡であり、その他対象施設を含めると10,300㎡、会議室利用の前原暫定庁舎を含めれば10,800㎡程度であるが、現庁舎にも課題があり、面積は執務環境調査を経て算出したものになる。

【市民O】 事務スペースや共用廊下の面積はどうか。職員数を見込んだ数値があったのではないかと。

→ 細かい数値は持ち合わせていないが、共用の部分等を考慮し12,665㎡と算出している。

基本計画では、旧総務省起債対象事業費基準を準用し、職員数等で算出しているが、当時の職員数では、13,757.5㎡と算出している。今回、執務環境調査を実施しており、当該調査の結果算出した12,665㎡を実現するに当たっても、今の文書量を7割削減していく等の努力をした上で成立する面積となる。面積をいわずらに増やすのではなく、利便性を考慮し、かつコンパクトに算出したものである。

【市民D】 清掃関連施設を暫定移設し、新庁舎、(仮称)新福祉会館を北側に並べてはどうか。

→ JRの高架橋は建築物に当たり、日影等の制限が生じる。また、西側も道路があり、制限が生じることから、施設配置は南東側に寄っている傾向がある。敷地が東西に長いのでこうした規制を受けることとなる。

— 以上で、閉会 —

新庁舎・(仮称) 新福祉会館建設に係る市民説明会における
意見シート

平成30年11月10日 第一小学校

- | |
|---|
| <p>○ 初めて説明会に参加しましたがとても丁寧に質疑に答えていただきうれしかったです。検討段階についても細かく示していただき参考になりました。</p> <p>○ 質問でも言いましたが、できるだけ出入口の多い計画を立てていただけると助かります(車も人も)。</p> |
| <p>○ 本日は丁寧な説明ありがとうございました。周辺住民への説明、意見交換の場をたくさん設けていただきたく、お願いします。また、説明会ももう少し広くインフォメーションをお願いします。</p> <p>○ 次回、交通(車(道が混む))、人の導線(エアーズ通り抜け)の説明をお願いします。</p> |
| <p>○ 広場を含む敷地は将来の施設建設(図書館など)も可能性が持てるように自由度の高いものにしてほしい。目先のことだけでなく、将来の公共施設のことも頭に入れておかないと、都市部でまとまった用地確保は難しい。</p> <p>○ 庁舎と福祉会館の1階はできれば共有するという自由度が高い方がいいと思う。その点ではC r e - 2を基本としながら、C - 3の要素を加えた2階以上は別々でもいいのではないか。</p> |
| <p>○ 以前より一小周辺には、子どもがボールで遊びをはじめ自由にのびのびと遊べる場所がなく、学校以外にはこの暫定広場が唯一の遊び場で、とても貴重な子どもの居場所です。今後新庁舎・福祉会館が建設されると、子どもの居場所がなくなります。是非、これに替わる子どもの居場所を作っていただきたいとお願いいたします。</p> |
| <p>○ 公民館本館を建設計画に入れること。市民参加の拠点として、旧福祉会館に公民館本館が本町分館に仮移転のまま前原町、中町の住民は、サークル活動に不便を増し、サークル団体を解消しているのが現状である。</p> <p>新庁舎に、公民館本部機能を入れてほしいし、学習室のほかにレクリエーション室などの機能設備を要望します。</p> <p>○ 現在の学校の空き部屋があれば平日利用を市民に活用させるようにしてください。</p> <p>○ 平成34年度秋頃に施工されるかを疑問を持つ市民が多く、早め早めに広報していくようにお願いします。</p> |
| <p>○ 周辺住民、特にエアーズシティとトミンハイムの居住者のプライバシーへの配慮が必要。各マンションの理事会との打合せは是非行ってほしい。</p> <p>○ エアーズシティが通り道化する懸念大</p> |

①市としての通り抜けを禁止するお知らせ

②交通信号の設置又は移設が必要（①の観点からも）

- 中央図書館は多摩地区の他市と比べてもあまりにもみすぼらしく恥ずかしい。早急に新中央図書館の設置が望ましい。ちなみに、当市での最新である「貫井北」を中央図書館とするのも一案と考える。そのうえで、現中央図書館を分館等として建て直すのがベターと考える。

- だいぶいろいろなことが分かってきました。丁寧な説明で良かったと思います。子どもたちのために、高齢者のために広場を残してほしいと思います。

- もう少し配布資料まとめをしていただきたいです。
- もう少し市民のニーズに合った説明会にしてほしい。
- 対比とか資料・データをまとめ、提示してほしい。でないと、先に進めません。堂々巡りです。
- 福祉会館、公民館待たせているのだから、会議室、グループで使用する部屋をたくさん用意してほしいと思います。

- 新庁舎、新福祉会館の早期建設を強く要望します。1年遅れて2億のリース代が掛かります。
- 設計内容に意見いろいろあると思いますが、早く建設することが第一です。

- C-3で福祉会館を免震にした場合、もっと工期が延びてしまうのではないか。そうすると先行竣工のメリットが小さくなってしまい、メリット・デメリットの意味が変わってしまうのでは。
- 庁舎竣工が遅くなると、コストだけではなく、防災上の観点が心配。5か月の間に大震災が来たら後悔しませんか。
- 8か月早くということでもあまり大きなメリットに思えないが、この辺りも考えると、Cre-2の方が優れていると思います。
- Cre-2案で地下駐車場をつくり、広場を増やすこともできるのでは。